

I 施設の管理概要

指定管理者名	ひとつくりJAPANネットワーク・三勢共同体		
指定期間	令和4年4月1日から令和9年3月31日まで		
施設概要	設置目的	健全な青少年の育成と県民の生涯学習の振興	
	施設区分	宿泊棟、研修室、体育室、キャンプ場等	
指定管理料	312,609,000円（4施設（天草青年の家、菊池少年自然の家、豊野少年自然の家、あしきた青少年の家）を一括で委託、利用料金制）		

II 管理運営の評価

1 管理業務の水準の評価

管理業務の水準を表す指標	目標値	実績値	備考
研修者延べ数	27,987人	25,815人	前年度実績27,710人
研修活動中の事故の有無	0件	0件	軽傷を除く

【点検・調査結果及び評価】

・研修者延べ人数は、前年度実績と比べると減少しているが、コロナ禍前と比較すると約9割まで回復している。利用者の呼び戻しに向けて、学校や地域の課題に対応する企画事業の更なる充実に期待している。

2 管理業務実施状況

① 施設維持管理業務実績

作業項目	実施日	内容
清掃	通年	所内清掃
保守・点検	年 6回	電気設備保守点検 専門業者に委託
	年 1回	身障者用昇降機点検 専門業者に委託
	年 2回	消防設備保守点検 専門業者に委託
	年 2回	自家発電設備保守点検 専門業者に委託
	年 12回	監視カメラ保守点検 専門業者に委託
	年 6回	空気環境測定
	年 1回	害虫駆除 専門業者に委託
	年 1回	受水槽・高架水槽清掃 専門業者に委託
	週 1回	水質検査（残留塩素）
	年 24回	浄化槽保守点検 専門業者に委託
	年 1回	浄化槽清掃 専門業者に委託
	年 1回	浄化槽法定検査 専門業者に委託
	年 1回	水質検査 専門業者に委託
	年 12回	塩素滅菌設備点検 専門業者に委託
	年 1回	建築設備定期点検 専門業者に委託
保安・警備	通年	宿直業務
	通年	給湯運転監視

【点検・調査結果及び評価】

・施設設備の清掃、保守・点検及び保安・警備については仕様書どおりに実施されている。頻度・内容ともに水準を満たしており、良好に管理されている。

② 運営事業実績
 [主な事業・イベント]

事業・イベント名	開催日時	参加者数	内 容
集団宿泊教室担当者セミナー①～⑥	4/25 5/9 7/31 8/8 8/22 9/9	65人	施設を利用予定の集団宿泊教室担当者に、研修の意義や効果的な利用方法について習得してもらう。また、体験活動における指導者の安全管理意識及び指導技術の向上を図り、充実した集団宿泊教室を実施できるようにする。
スプリングファミリーキャンプ	5/11～5/12	36人	自然体験活動を通して、家族の絆を深める。さらに、アウトドアで過ごす楽しさを味わいながら、家族での思い出作りの機会とする。
きよらフリーキャンプ①～⑤	5/4～5/6 5/25 8/31～9/1 9/27 10/6 10/17 10/19～10/20 12/8	40人	利用が少ないキャンプ場の再生化を図り、気軽に利用できる施設としてPRする。また自然の中で野外活動を通して、アウトドアの楽しさを味わいながら家族やグループ間の思い出づくりの機会とする。
幼保連携事業（全6回）	6/14 9/6 10/10 10/11 12/5 1/17	109人	(1) 幼児期における自然体験の機会を増やし、自然体験活動を通して、幼児期における人間形成の基礎（知・徳・体）を培う。 (2) 保護者が、自然体験活動の楽しさを実感し、子育てに取り入れる重要性を理解する機会とする。 (3) 幼稚園・保育所と自然の家が連携して、自然体験活動におけるプログラム提供や指導法について情報交換を行う。
スマイルキャンプ（全7回）	6/18 7/22 10/1 11/21 12/9 1/15 1/16	161人	自然体験活動を通して、達成感や満足感を味わい、子ども達の自尊感情を高めるとともに、他参加者との交流を深める。
夏だ！川だ！サンサンサマー ①・②・③	7/15 7/20 7/21	70人	川遊びを通して、子ども達の交流を深めながら、生きる力を身につけるとともに、自然に親しみ豊かな心を育てる。
いきいき自然学校①②	7/24	32人	日ごろ体験活動の機会が少ないと思える子ども達へ、様々な体験活動を提供する。また、事業を通して自尊感情や協調性を高める。
ドキドキ！わくわく！サマーキャンプ！！	8/17～8/18	23人	野外活動を通して、異年齢集団の子ども達の交流を深めながら、生きる力を身につけるとともに、自然に親しみ豊かな心を育てる。

わくわくトライ！サイエンスラボ	11/23	19人	科学実験や工作を通して、子ども達の交流を深めながら、生きる力を身に付けるとともに、科学に親しみ豊かな心を育てる。
新春どんどやキャンプ	1/18～1/19	18人	地域交流事業の一環として、水迫地区との共催事業を行い、日本の伝統文化を学ぶとともに、参加者との交流を図る。
通学合宿A・B・Cグループ	1/25～1/29 2/1～2/5 2/15～2/19	37人	自然体験活動を通して、達成感や満足感を味わい、子ども達の自尊感情を高めるとともに、他参加者との交流を深める。
きよらチャレンジ登山部	3/15	13人	鞍岳登山を通して、参加者との交流を深めながら、自然に親しむとともに、困難を乗り越え登頂した喜びを実感する。
【点検・調査結果及び評価】 ・令和6年度は前年度から3事業増加し、35の企画事業を実施している。高校生と連携した新規事業についても、実施することができ、評価できる。 ・学校現場における課題解決につながる不登校対応事業や幼稚園・保育園との連携事業に積極的に取り組んでおり、未就学児の団体利用増加につなげることができている。			

3 利用状況

施設名	年計		前年度計	前年度比
	開館日数	年計	前年度計	前年度比
本館	開館日数	359日	360日	99.7%
	宿泊可能日数	356日	357日	99.7%
	利用日数	276日	274日	100.7%
	利用率	76.9%	76.1%	101.1%
	利用団体数	202団体	220団体	91.8%
	利用者実数	7,890人	8,450人	93.4%
キャンプ場	利用者延べ数	15,170人	16,009人	94.8%
	宿泊可能日数	356日	357日	99.7%
	利用日数	24日	8日	300.0%
	利用率	6.7%	2.2%	305.0%
	利用団体数	19団体	7団体	271.4%
	利用者実数	309人	201人	153.7%
出前講座等	利用者延べ数	394人	233人	169.1%
	利用団体数	177団体	176団体	100.6%
その他	利用者実数	9,466人	10,183人	93.0%
	利用者実数	785人	1,285人	61.1%
利用者合計		25,815人	27,710人	93.2%

【点検・調査結果及び評価】
 ・本館の利用者数は、前年度から約1割減少している。集団宿泊教室の宿泊数や1団体あたりの人数が減少しているため、一般団体や企業等新たな利用者層の獲得が課題である。
 ・キャンプ場の利用者数は、約7割増加しており、企画事業の成果が評価できる。

4 管理経費の収支状況

① 収入				
項目	内 訳		金額(円)	
指定管理料	指定管理者による本施設への振り分け		60,860,000	
利用料金収入	本館	一般1,307人、高校生以下5,351人、就学前の者324人	2,293,090	
	キャンプ場	一般18人、高校生以下9人、就学前の者0人	6,660	
	宿泊を伴わない利用	一般566人、高校生以下719人、就学前の者427人	92,550	
食事代			14,057,440	
シーツ等クリーニング代			1,124,400	
プログラム活動料金			2,907,250	
出前講座収入	177団体		1,199,320	
企画事業等収入	35事業		812,915	
雑収入			117,546	
合 計			83,471,171	
			収入未済額	0
			うち利用料金収入分	-

② 支出			
項 目	内 訳		金額(円)
人件費			43,987,984
運営管理費	旅費、管理費、活動プログラム費		13,263,665
維持管理費	光熱水費、業務委託費、施設修繕費		27,153,948
企画事業費			358,312
合計			84,763,909

【点検・調査結果及び評価】
 利用料金収入については適正に収納され、指定管理料と併せて施設管理運営に必要な経費に適切に使用されている。

5 利用者調査結果

調査実施内容	調査年月日	令和6年4月1日～令和7年3月31日											
	調査方法	全ての利用者団体にアンケート調査を実施 ※出前講座利用を除く											
	調査対象数	179団体											
調査結果	調査分野	回 答 内 容											
		非常によい		よ い		普 通		あまりよくない		悪 い		無回答	
		人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
	集団生活を学ぶ場	150	83.8	15	8.4	3	1.7	0	0.0	0	0.0	11	6.1
	活動内容	132	86.8	18	11.8	2	1.3	0	0.0	0	0.0	27	※1
	職員の受入れ対応	145	81.0	18	10.1	3	1.7	2	1.1	0	0.0	11	6.1
	職員の指導・助言	150	83.8	14	7.8	3	1.7	0	0.0	0	0.0	12	6.7
	食堂スタッフの対応	105	89.0	10	8.5	3	2.5	0	0.0	0	0.0	61	※2
	食事の質	104	83.9	15	12.1	4	3.2	1	0.8	0	0.0	55	※2
	食事の量	90	75.6	22	18.5	7	5.9	0	0.0	0	0.0	60	※2
	屋内の施設・環境	110	61.5	34	19.0	6	3.4	1	0.6	0	0.0	28	16
屋外の施設・環境	116	64.8	23	12.8	5	2.8	2	1.1	0	0.0	33	18	
また利用したいか	ぜひ			機会があれば				利用しない		無回答			
	142	79.3			23	12.8			1	0.6	13	7.3	
利用者からの意見等	特になし												

【調査結果及び評価】
 ・昨年度とほぼ同様の結果であり、利用者の満足度は概ね高いと評価できる。「食堂スタッフの対応」「食事の質」「食事の量」の質問項目における「非常によい」と「よい」の合計は、利用者のサービス向上に向けた取り組みを行ったことで、9割を超えており、評価できる。

※1 自主活動団体は無回答のため、比率計算の分母に算入せず

※2 食事をとっていない団体は無回答のため、比率計算の分母に算入せず

6 意見・苦情等の対応

利用者からの意見・苦情等	改善状況
特記事項なし	
【調査結果及び評価】	

7 昨年度の評価で、改善を指摘した事項に対する対応

指摘事項	改善内容・結果
【調査結果及び評価】	

8 その他

特記事項なし
